



わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう



モーセが あらかじめ もっていた こと

いのり _____ しかいしゃ
 しとしんじょう _____ みんなで
 さんび _____ しんさんびか 270 ばん (きゅう 214 ばん) 「すくいぬしのあいと」、ていこくいり (2020 ねんこどもさんび)
 せいしよ _____ 出 エジプト記2:1~10

出 エジプト記2:1~10 パロの娘は彼女に言った。「この子連れて行き、私に代わって乳を飲ませてください。私
 があなたの賃金を払いましょう。」それで、その女はその子を引き取って、乳を飲ませた。その子が大きくなったと
 き、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけ
 た。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。(9-10)

みことば _____ モーセが あらかじめ もっていた こと _____ しかいしゃ

神様の民であったイスラエルが契約を忘れて、エジプトの奴隷になりました。エジプトの
 パロ王は、イスラエルの民の数がだんだん多くなることを恐れしました。それゆえ、イスラエルに
 男の子が生まれたら、すべて殺すように命令しました。

そのような状況の中、イスラエルの民の中のレビ人のひとりが、男の子を産みました。
 その子があまりに可愛かったので三か月の間その子を隠していましたが、もう隠しきれなく
 なったので、かごに入れてナイル川の岸の葦の茂みの中に置きました。そのかごを川岸で
 水浴びをしにきたエジプトの王女が発見しました。王女は、赤ん坊(のちのモーセ)を自分の
 養子にして、モーセの母親ヨケベデに乳母としてモーセを育てるようにと言いました。

それゆえ、モーセは母親から神様の契約を聞いて育ちました。このすべてのことは、イスラエル
 の救いのために神様が準備された計画でした。

私たちはモーセのように、全世界237か国を生かすために神様があらかじめ準備して
 くださった伝道者です。この契約を忘れることなく、私に与えてくださった神様の計画に
 ついて神様に質問してみましょう。

いのり _____ いっしよに おおきなこえで
 _____ いのりましょう

かみさま ありがとうございます！ わたしを せかいふくいんかの しゅやくとして じゅんびして
 くださって ありがとうございます。ただ イエス・キリストの けいやくを にぎって ちょうせん
 しますように。いきておられる イエス・キリストの みなによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり _____ いっしよに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
 ✓ チェックしよう

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいつつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

10

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

そのこが おおきくなった とき、

おんなは そのこを

パロの むすめの もとに つれていった。

そのこは おうじよの むすこに なった。

かのじよは そのこを

モーセと なづけた。

かのじよは、「みずの なかから、

わたしが このこを ひきだしたのです」

と いったからである。



きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで あいている ところに あう
ことばを かきましょう。



それゆえ、モーセは

から の

を きいて そだちました。

この すべてのの ことは、

イスラエルの の ために

かみさまが された

でした。

かみさま、すくい、ははおや、けいやく、けいかく、じゅんび



さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

モーセは ははおやの ヨケベデの しんこうによって イスラエルの
たみを やくそくの ち カナンへ みちびく しどうしゃとして
もちいられました。 パパとママと いっしょに したの えに
かくれている えを みつけて わたしが にぎるべき かみさまの
けいやくは なにかを しつもんしましょう。

かくれている え | もみじの はっぱ、リコーダー、クエスチョンマーク、きゅうり、
ぶらしがたの ほうき

13

もくようび



ひょうげんしょう

☆ ひそひそ ☆

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

14

きんようび

モーセの すべての もんだいは かみさまの けいやくの なかで
すでに けいかくされていた しゅくふくでした。 わたしと かぞくに
ある もんだいは おおきくても ちいさくても すべて かみさまの
けいかくである ということ を していますか。 かぞくと いっしょに
はなしを して えか じで ひょうげんしましょう。



ワーク

パッパ
パッパ

たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
こころに きざみましょう

15

どうび

パパとママと きょうかいの せんせいは わたしが かみさまの
けいやくの りよていを あゆむことが できるように まいにち
わたしたちに ふくいんを つたえてくださいます。 そのような
わたしの まわりに かみさまが おいてくださった かんしゃする
ひとびとに したの ワークで あいと かんしゃする おもいを
ひょうげんしましょう。

じゅんぴするもの | いろいろな はな、かご、はがき または カード、ペン

あいと かんしゃの はなたばを つくろう



1. いろいろな はなを ひとつ ひとつ きれいに たばねましょう
2. きれいな かたちにした はなたばを つくって かごに いれましょう
3. はがきか カードに こころを こめた ことばで かんしゃを つたえるように かきましょう
4. かんしゃする ひとに「ありがとうございます」と こえを だして 言って はなたばを わたしましょう